

「大曲の花火ウィーク」2017も大盛況御礼

2017年8月20日より26日までの期間、大曲の丸子橋特設会場と花火通り商店街に於いて開催させて頂きました「大曲の花火ウィーク2017」は多くの皆様のご来場・ご参加とご協力のお陰様にて「大曲の花火」と共に大盛況にて幕を閉じることが出来ました。 近隣地域にお住まいの皆様、御協賛を賜りました多くの各企業様、ご支援ご協力を頂いた関連諸団体、ご協力頂いた皆様 そしてご来場を頂きました多くの方々に深く感謝申し上げます。

開催7年目となりました本年度も、まつり大曲推進協議会との共催事業として昨年同様「夏祭り大曲2017」を初日の開催とさせて頂きました。天候にも恵まれイベントも満載にて輝かしいオープニングを飾って頂きました。本年度も継続行事の子供樽みこしや、盆踊り広場、ストリート花火を催し そして今回のフードコートの目玉は「ラーメンフェス」、またステージイベントでは岩手県の盛岡市より、さんさ踊りチーム「さんさ好み」の皆様にお越し頂き華麗なさんさ踊りをご披露いただきました。最後の花火の打ち上げまで、主に市民の皆様、帰省されていた方 老若男女にお楽しみ頂いたイベントとなりました。

開催期間中でもありました8月24日（木）の集中豪雨による被害につきましては、24日分のイベントの中止により関係者の皆様や花火ウィークを楽しみにして下さっている皆様には屋外事業の特性とはいえ、様々な面でご迷惑とご難儀をおかけ致しました。しかしながら翌日・翌々日の好天にも恵まれ、また来場者の皆様や、関係の方々より会場各所に賑わいの場面・場所を作って頂きましたおかげ様で今年も大盛況 開催7年目にして一番と思われる程の来場者数となりました。

また、本大会の会場も冠水の被害を受け、一部のメディアでは被害が一番酷い状況時のみの連続現場放映や開催中止の可能性を含んだ報道が流出した事もあり、観覧を予定されていた方・栈敷席をご購入されていた方々、そして「大曲の花火」ファンの皆様には大変に御心配とご迷惑をおかけいたしました。

しかし関係者による全力の復旧作業とご来場者のご理解とご協力により無事予定通りの開催が出来、また好天に転じたのも幸いし、今年度は74万人の観衆に「大曲の花火」を楽しんで頂く事が出来ました。重ねて御礼を申し上げます。

花火ウィークも来年度に向けてのスタートとなりました。回を重ねる度に内容が充実し、老若男女問わず楽しんで頂く、また観光客の皆様喜んで頂ける事業の開催ができるよう企画・準備に取り組んでおります。本年度の企画を検証し、「大曲の花火」に直結する事業として近隣市町村の皆様にもご協力を頂きながら県内の魅力を共に発信し、更に充実した企画を検討し来年度に繋げ、定着した行事として開催して参りたいと存じます。

来年度も「おもてなし」の気持ちを忘れず、更なる充実企画にて皆様方をお迎えする事をお約束申し上げ御礼の言葉とさせていただきます。

来年度も、再び皆様の笑顔に出会えるよう祈念致しております。

大曲の花火ウィーク実行委員会